

後期基本計画成果指標等設定根拠

□□□□・・・前回（R2年度第1回目審議会・書面協議）資料から、変更された目標値

第4章 自然と都市の魅力が調和し、賑わいと交流を促すまちづくり

参考資料2

施策4-1 快適で住みよい住環境づくりの推進

No	成果指標名	前期計画				(1) 実績値						後期目標値	担当課	継続状況	(2) 後期目標値設定の根拠	(3) 指標変更・廃止の理由
		現状値の年度	現状値	単位	前期目標値(令和2年)	平成26年(2014)	平成27年(2015)	平成28年(2016)	平成29年(2017)	平成30年(2018)	令和元年(2019)	令和7年(2025)				
1	街区表示板取付総数	H26	2,151	箇所	2,600	/	2,151	2,151	2,151	2,151	=	-	市民課	廃止	/	街区表示について、当面は損傷対応を中心に取り組む方針であるため、総数を増加するという目標値を廃止する。
1	不良住宅・特定空家等除却促進事業における除却件数	H26	1	件	18 (H27～R2累計)	/	3	3	3	3	5	75 (R3～R7累計)	都市整備課	継続	非課税世帯のみであった補助金対象者を低所得者まで拡大したことにより、年間15件を見込む。 5（非課税世帯向）+10（低所得者層向）=15件/年間	後期基本計画から、指標名に、特定空家等を追加した。
2	空き家・空き地バンク登録数	-	-	件	-	/	-	-	-	12	25	75 (R3～R7累計)	都市整備課	新規	空き家対策計画の目標値（H30～R4）に基づき設定する。	/
3	空き家・空き地利活用支援事業の活用件数	R1	32	件	-	/	-	-	-	-	32	110 (R3～R7累計)	都市整備課	新規	年間22件程度の利活用を目指す。	/
4	創業支援等事業計画に基づく空き店舗利活用者数	-	-	人	-	/	-	-	-	2 (単年度)	10	10 (R3～R7累計)	商工課	新規	H30実績を基に年間2件を見込む。	/

施策4-2 秩序ある土地利用と景観形成の推進

No	成果指標名	現状値の年度	現状値	単位	前期目標値	(1) 実績値						後期目標値	担当課	継続状況	(2) 後期目標値設定の根拠	(2) 指標変更・廃止の理由
					令和2年(2020)	平成26年(2014)	平成27年(2015)	平成28年(2016)	平成29年(2017)	平成30年(2018)	令和元年(2019)	令和7年(2025)				
1	花と樹木におおわれたまちづくりモデル事業累積参加者数	H26	4,100	人	8,800	/	4,700	5,300	5,900	6,500	7,100	11,800	都市整備課	継続	前期目標値から、年間600人を見込む（植樹樹575箇所≒600人）	/
2	公共用地への樹木植栽累積本数	H26	1,074	本	1,320	/	1,139	1,189	1,298	1,400	1,470	1,960	都市整備課	継続	H28～30の実績に基づき年間約80本の増加を見込む。	/

施策 4-3 利便性の高い道路・交通網の整備

No	成果指標名	前期計画				(1) 実績値						後期目標値	担当課	継続状況	(2) 後期目標値設定の根拠	(3) 指標変更・廃止の理由
		現状値の年度	現状値	単位	前期目標値(令和2年)	平成26年(2014)	平成27年(2015)	平成28年(2016)	平成29年(2017)	平成30年(2018)	令和元年(2019)	令和7年(2025)				
1	道路網の歩道延長	H26	99.12	km	100.66	/	99.13	99.91	99.82	99.90	99.90	100.87	土木課	継続	現在継続している道路改良に伴う歩道整備計画延長に基づき設定する。	
2	長寿命化対策を実施した橋梁数の割合	H26	2 (5/306)	%	15 (45/306)	/	2 (6/306)	3 (9/306)	7 (20/306)	11 (35/306)	15 (46/306)	19 (58/304)	土木課	継続	年間2橋の実施を見込む。 (令和2年度以後、橋梁数2減306→304)	
3	道路の改良延長(供用開始延長)	H22~26	3.84	km	2.34 (H27~R2)	/	1.02 (単年度)	0.75 (単年度)	0.82 (単年度)	0.06 (単年度)	0.17 (単年度)	1.22 (R3~R7)	土木課	継続	現在継続している道路改良事業の整備計画延長に基づき設定する。	
4	都市計画道路の整備状況	H25	39.6	%	41.4	40	39.9	40.1	52.2	52.5			都市整備課	廃止		前期目標値を達成していることに加え、目標年次までの整備延長予定がないため廃止する。
4	市街地循環バス(右回り線・左回り線)の平均乗車人数	H26	13.6	人/便	15.2	/	12.8	12.7	13.0	12.7		15.6	総合政策課	継続	一般財源の負担が0円(使用料等で運営可)となる値を基に設定する。	
5	市街地循環バス南回り線の平均乗車人数	H26	8.3	人/便	10.3	/	8.3	9.0	10.3	9.4		11.5	総合政策課	継続	経費に占める収入の割合が35%となる値を基に設定する。	

施策 4-4 安全な水の供給と水環境の保全の推進

No	成果指標名	前期計画				(1) 実績値						後期目標値	担当課	継続状況	(2) 後期目標値設定の根拠	(3) 指標変更・廃止の理由
		現状値の年度	現状値	単位	前期目標値(令和2年)	平成26年(2014)	平成27年(2015)	平成28年(2016)	平成29年(2017)	平成30年(2018)	令和元年(2019)	令和7年(2025)				
1	主な河川の水質汚濁に係る環境基準達成率BOD	H26	100	%	100	/	100	100	100	100		100	環境生活課	継続	現状を維持する。	
2	下水道水洗化率	H26	85.2	%	88.3	/	85.5	86.1	87.4	88.2		88.4	業務課・下水道課	継続	今後の人口減少及び工事による下水道への接続件数を予測し設定する。	

施策 4-5 環境にやさしいまちづくりの推進

No	成果指標名	前期計画				(1) 実績値						後期目標値	担当課	継続状況	(2) 後期目標値設定の根拠	(3) 指標変更・廃止の理由
		現状値の年度	現状値	単位	前期目標値(令和2年)	平成26年(2014)	平成27年(2015)	平成28年(2016)	平成29年(2017)	平成30年(2018)	令和元年(2019)	令和7年(2025)				
1	ごみの総排出量	H26	28,034	t	26,500	/	28,185	26,768	26,632	27,101	未確定	25,000	環境生活課	継続	第3期米沢市ごみ処理基本計画に定める目標値に基づき設定する。	
2	公害苦情件数	H26	199	件	150	/	154	106	90	84	78	(R1比)10%減	環境生活課	継続	前期目標値から半減程度(70件程度)を目指す	

後期基本計画成果指標等設定根拠

□・・・前回（R2年度第1回目審議会・書面協議）資料から、変更された目標値

第5章 安全安心に暮らせるまちづくり

施策5-1 いざというときに備えるまちづくりの推進

No	成果指標名	前期計画				(1) 実績値						後期目標値	担当課	継続状況	(2) 後期目標値設定の根拠	(3) 指標変更・廃止の理由
		現状値の年度	現状値	単位	前期目標値(令和2年)	平成26年(2014)	平成27年(2015)	平成28年(2016)	平成29年(2017)	平成30年(2018)	令和元年(2019)					
1	防災拠点としての公共施設の耐震化率	H26	92.0	%	100.0	/	79.5	83.3	92.9	93.5	96.4	100.0	環境生活課 都市整備課	継続	米沢市建築物耐震改修促進計画に基づき設定する。	
2	自主防災組織率	H26	54.2	%	70.0	/	62.1	62.6	63.4	63.4	68.7	100.0	環境生活課	継続	大規模災害に備え、各地区・町内会での「共助」を推進し、組織率を向上させる。	
3	消防団員の充足率	H26	93.2	%	100.0	/	93.6	93.2	92.1	92.3	89.9	100.0	環境生活課	継続	充足率100%を目指す。また、消防団組織見直しにおける条例定数等も見直しを図る	

施策5-2 普段から安全を心がけるまちづくりの推進

No	成果指標名	前期計画				(1) 実績値						後期目標値	担当課	継続状況	(2) 後期目標値設定の根拠	(3) 指標変更・廃止の理由
		現状値の年度	現状値	単位	前期目標値(令和2年)	平成26年(2014)	平成27年(2015)	平成28年(2016)	平成29年(2017)	平成30年(2018)	令和元年(2019)					
1	交通事故発生件数(人身)	H26	569	件	410	/	556	485	433	395	303	(R元年比)50%減	環境生活課	継続	過去の事故減少率から年間約12%減を目指す	
2	街頭犯罪の発生件数(米沢警察署管内)	H26	480	件	343	/	460	395	336	338	=	/	環境生活課	指標変更		
2	刑法犯認知件数(米沢市内)	H26	449	件	239	/	431	373	305	304	276	(R元年比)50%減	環境生活課	指標変更	過去の刑法犯減少率から、年間約9%減を目指す。	指標名を県警本部公表の名称と統一
3	特殊詐欺の被害件数(米沢警察署管内)	H26	6	件	3	/	3	1	6	1	=	/	環境生活課	指標変更		
3	消費者見守りサポーター養成人数	-	-	人	-	/	422	991	1,439	1,597	2,185	5,000	環境生活課 高齢福祉課	指標変更	令和2年度末まで2,500人養成、令和3年より毎年500人の養成を目指す。	消費者見守りサポーター養成人数の増加が 市民への消費者教育の普及の指標として適当と考え、変更

施策5-3 冬期も安全安心に暮らせるまちづくりの推進

No	成果指標名	前期計画				(1) 実績値						後期目標値	担当課	継続状況	(2) 後期目標値設定の根拠	(3) 指標変更・廃止の理由
		現状値の年度	現状値	単位	前期目標値(令和2年)	平成26年(2014)	平成27年(2015)	平成28年(2016)	平成29年(2017)	平成30年(2018)	令和元年(2019)					
1	除排雪協力会の組織数	H26	451	団体	480	/	458	470	473	476	477	495	土木課	継続	過去の実績から年間3団体の増を見込む。	
2	雪灯籠まつり観光客入込数	H26	158,500	人	170,000	/	174,000	185,000	224,000	234,000	162,000	274,000	観光課	継続	H30を基礎として、毎年度2.5%の増加を見込む。	

後期基本計画成果指標等設定根拠

6章(差替版)・・・6章については、章構成を大幅に変更

第6章 持続可能なまちづくり(協働・行政経営)

施策6-1 ICTを活用したまちづくりの推進

No	成果指標名	前期計画				(1)実績値						後期目標値	担当課	継続状況	(2)後期目標値設定の根拠	(3)指標変更・廃止の理由
		現状値の年度	現状値	単位	前期目標値(令和2年)	平成26年(2014)	平成27年(2015)	平成28年(2016)	平成29年(2017)	平成30年(2018)	令和元年(2019)	令和7年(2025)				
1	市への電子申請が可能な手続の数	H26	7	件	14		7	7	8	10	13	19	総合政策課	継続	過去の実績値に追加可能な手続き数を追加	

施策6-2 交流・つながりを通じ、多くのひとを呼び込むまちづくりの推進

No	成果指標名	前期計画				(1)実績値						後期目標値	担当課	継続状況	(2)後期目標値設定の根拠	(3)指標変更・廃止の理由
		現状値の年度	現状値	単位	前期目標値(令和2年)	平成26年(2014)	平成27年(2015)	平成28年(2016)	平成29年(2017)	平成30年(2018)	令和元年(2019)	令和7年(2025)				
1-1	国際理解講座の受講者数(受講回数)	H26	31	回	37		23	30	33	43	29	50	秘書広報課	継続	毎週1回開催(年末年始とお盆は休み=約50回)し、1回当たりの参加者数を40人と見込む。	
1-2	国際理解講座の受講者数(延べ人数)	H26	1,100	人	1,300		763	1,622	1,879	1,980	1,395	2,000	秘書広報課	継続		
2	イベント等による首都圏からの移住者数						H27~H30年 延べ人数 91人				114人(R3~R7累積)	総合政策課	新規	これまでの実績から、後期目標値を設定。		

施策6-3 とともに協力し合い、行動するまちづくりの推進

No	成果指標名	前期計画				(1)実績値						後期目標値	担当課	継続状況	(2)後期目標値設定の根拠	(3)指標変更・廃止の理由
		現状値の年度	現状値	単位	前期目標値(令和2年)	平成26年(2014)	平成27年(2015)	平成28年(2016)	平成29年(2017)	平成30年(2018)	令和元年(2019)	令和7年(2025)				
1	審議会等の公募委員の割合	H21~25	8.8	%	10.0	12.8	4.4	8.2	7.6	6.1		10.0	総務課	継続	米沢市附属機関の委員の公募に関する規定に基づき設定する。	
2	市ホームページへの閲覧件数	H26	4,482,622	件	4,620,000		5,168,313	4,784,934	4,487,884	6,057,229	8,092,104	7,300,000	総合政策課	継続	H26年度からH30年度の平均値に、H26年度から本平均値の増加率を乗じたものを後期の目標値とした。(令和元年数値は、選挙やコロナ等の特別要因があったため、平均値算出年度には含まない。)	
3	協働提案制度による提案数	-	-	件	-	6	8	8	9	5	5	36(令和3年~7年累積)	総合政策課	新規	R6単年度目標8件に向け増増(6+7+8+8=36)8件=6.8(H26~R1平均)×1.2倍	

施策6-4 男女共同参画の推進

No	成果指標名	前期計画				(1)実績値						後期目標値	担当課	継続状況	(2)後期目標値設定の根拠	(3)指標変更・廃止の理由
		現状値の年度	現状値	単位	前期目標値(令和2年)	平成26年(2014)	平成27年(2015)	平成28年(2016)	平成29年(2017)	平成30年(2018)	令和元年(2019)	令和7年(2025)				
1	審議会・委員会の女性登用率	H26	26.6	%	30.0		25.9	25.3	24.9	25.8		35.0	総合政策課	継続	第2次米沢市男女共同参画基本計画に基づき設定する。	

施策 6-5 健全な行政経営の推進

No	成果指標名	前期計画				(1) 実績値						後期目標値	担当課	継続状況	(2) 後期目標値設定の根拠	(3) 指標変更・廃止の理由
		現状値の年度	現状値	単位	前期目標値(令和2年)	平成26年(2014)	平成27年(2015)	平成28年(2016)	平成29年(2017)	平成30年(2018)	令和元年(2019)	令和7年(2025)				
1	ふるさと応援寄附金の寄附額	H26	44,720	千円	400,000(4億)	/	1,958,247	3,530,753	1,769,196	555,875	1,393,830	600,000	ブランド戦略課	継続	国の指導に基づき返礼品等の見直しを行った平成30年度の実績を基に設定する。(なお、令和元年は返礼品にP Cが追加されたため、実績値が高くなったが、今後返礼品基準が変更される可能性もあるため、平成30年の実績値ベースで目標設定する。)	/
2	経常収支比率	H26	98.1	%	95%以下	/	90.1	92.4	92.1	94.2		95%以下	財政課	継続	前期目標値を継続する。	

策 6-6 他自治体との広域連携の強化

No	成果指標名	前期計画				(1) 実績値						後期目標値	担当課	継続状況	(2) 後期目標値設定の根拠	(3) 指標変更・廃止の理由
		現状値の年度	現状値	単位	前期目標値(令和2年)	平成26年(2014)	平成27年(2015)	平成28年(2016)	平成29年(2017)	平成30年(2018)	令和元年(2019)	令和7年(2025)				
1	置賜地域移住交流推進協議会と連携した移住希望者に対するセミナー開催数	H26	-	回	2	/	-	2	2	1	2	3	総合政策課	継続	置賜地域でのセミナー(置賜暮らしワークショップ)をこの間で1回増やす。	/